

鉾屋町
町内会だより

11月14日
資源回収

前回9月が中止となったため、
実に4ヶ月ぶりの資源回収とな
りました。
溜まった資源類もその分多く、
十文字稲荷前では、袋から回収
ケースへ、空缶の移し替えに皆
さん大忙しです。



不定期発行
発行者
鉾屋町町内会
編集/文責/撮影
桂 汎用工房
脇田 桂一郎
印刷
小松総合印刷
株式会社

アリスさんから「ケースを重
ねますので、缶を山盛りにしな
いでください。」との指示があり、
更に作業が続きます。



元北田商店裏は、いつもダン
ボールが多いところですが、今
回も結構な量。みなさんが運ん
でいくダンボールを、回収車が
飲み込んでいくのが追いついて
いない感じます。



なんかもう溢れそうです。



新聞は当然のことながら、倍
の4ヶ月分です。北田商店での
途中で、この分量になりました。



かわってつ園前で新聞と空缶を
載せると、トラックはほぼ満杯
になりました。アリスさんは「下
ろすのが大変だなー。」と、ち
よつと困った様子。

お手伝いしてくださった皆様、
ありがとうございます。次回
は来年、1月16日の予定です。



「雲を紡ぐ」でつながろう プロジェクト

主催・盛岡ブランド市民推進委員会、共催・盛岡まち並み塾により、「雲を紡ぐ」でつながろうプロジェクトが10月15日から始まっています。

「雲を紡ぐ」は伊吹有喜さんによる小説で、盛岡市が主な舞台となっています。また盛岡で盛んである、ホームパンが主題の一つにもなっています。



ホームパンは直訳すれば「家で紡ぐ」で、家庭で糸を紡ぎ、それを織って様々なものを作ることが元になっています。厳密に言えば「手紡ぎ、手織り」の毛織物、ということになるのでしょうか。



その会場の一つである、大慈清水御休み処では「雲つな拠点ブックカフェ」として、ホームパン製品や、関連書籍の展示・販売が行われています。
小説の中で、ホームパンのシヨールームとして登場する、鉾屋町の町家のモデルは、大慈清水御休み処なのだそうです。



糸を紡ぐための手回し糸車や、手織りの織機も飾られており、小説の雰囲気を実感できる空間になっています。



入口横に設けられた「盛岡の魅力」を紡ぐあなたへの質問」のコーナー。皆さんが様々な盛岡への思いを書き綴っています。

大慈清水御休み処での開催は、11月28日まで。また11月19日からは、三岳亭でも関連の展示会が開かれる予定です。



秋の火災予防週間

11月9日から秋の火災予防週間が始まります。(消防への通報119に掛けています)

それに先立って11月7日、盛岡中央消防署中野出張所と盛岡市消防団第2分団、第13分団の消防車が、啓蒙のための巡回を行いました。

遠くに鐘の音は聞こえるのですが、なかなか来ないのを待っていると、神子田方向からやってきました。



指揮車を先頭に、中野出張所の水槽付消防車、第2分団、第13分団のポンプ車が列を組んで、大慈寺地区コミュニティ消



防センターの前を通過しました。水槽付は大型車扱いのため一旦待機、残り3台が南大通方面を回って戻ってきます。ユニバースの駐車場で4台が集



みなさん、すでに暖房をお使いだと思えますが、火の元には十分お気をつけください。また盛岡市消防団では、新団員を随時募集しております。ご協力をお願いいたします。

相撲健康体操

とは何か

三岳亭で10月19日、南部流角力節語り部協会の主催により、相撲健康体操の講習会が行われました。



相撲健康体操は戦前、低学年児童を対象に奨励されていましたが、戦後の新しい教育方針にふさわしくないと、一度は消滅してしまいました。

平成17年に日本相撲協会が「相撲基本体操・十二の型」として復活させ、普及に努めます。

相撲の基本動作、四股とか土俵入りなどの型を元にして、筋肉の緊張をほぐす、血行の改善、集中力と身体バランスの向上などに効果があるとされています。

南部流角力節語り部協会
長の高橋 多美雄さん(右)と
講師の佐藤 正雄先生(左)。



体をほぐす運動から、しだいに相撲らしい動きへと進んでいきます。



佐藤先生のお話では、股関節を鍛えることが大事、というのが耳に残りました。



この講習会は来年3月まで、毎月第3火曜日に行われる予定です。

編集後記と 朝顔日記 最終回

あまり町内会だよりの記事にはなりませんでしたが、10月31日は朝からいろいろありました。まずは衆議院選挙。鉤屋町に越してから初めての選挙です。

投票会場は大慈寺小学校。選挙のときは普段入れない建物を

見られるので、投票はいつも行っていました。以前は岩手女子高、更には盛岡三高でした。出口調査もやっていました。



三岳亭の前を通ったら、ちょっとしたことでお手伝い。その後、いずみやの皆様の料理研究会でございそうになりました。おいしいだけでなく、彩りも綺麗でした。



町家物語館では前号で紹介した、彫刻シンポジウムが撤収作業を行っていました。写真だと設置との区別が付きませぬ。



朝顔の方は、10月半ばの寒い日を境に花の数がぐんと減り、もう種を取るためだけの状態になりました。そろそろ片付けなといけません。(桂)

